

令和5年梅雨前線等による大雨災害の状況

1. 大雨の概要

【6月30日～7月1日】

梅雨前線の南下に伴い、局地的に猛烈な雨が降った。由布市湯布院では24時間雨量が385ミリとなり、7月の観測史上最大を記録した。

【7月8日～11日】

梅雨前線の活動が活発となり、7月10日に県北部と西部に線状降水帯が発生。日田市、中津市に大雨特別警報が発表された。

【7月25日】

暖かく湿った空気の影響で、局地的に大雨が発生。1時間雨量が大分市で46.5ミリ、由布市湯布院で31.5ミリを記録した。

2. 人的被害 死者4名、重傷者1名、軽傷者1名

3. 住家被害 全壊12棟、半壊16棟、床上浸水59棟、床下浸水153棟 等

4. 被害額 260億8,100万円 ※令和5年8月10日時点
(土木建築関係188億7,500万円、農林水産関係68億6,400万円 等)
(市町村別では日田市113億6,200万円が最多)